寒風（かんぷう）の　山に到れば　鶴（つる）　飛びて
谷に降れば　石井有（せきせいたも）つ

令和五年十二月十三日

大中臣正比呂

其、久（ひさ）しき多久（たく）の邑（むら）を出（い）でて、水ヶ江（みずがえ）の城に出任（しゅつにん）する時に詠める歌を、石井鶴山に代りて作りし一首なり。

飛鶴為寒風到山
降渓所有石井泉
時余去東原庠舎
応主命而説孔論

大中臣正比呂　拙作